

次期機構長選考基準

平成28年3月4日

情報・システム研究機構長選考会議

1 情報・システム研究機構長に求められる資質・能力

大学共同利用機関法人は、機構の強み・特色を最大限活かした共同利用・共同研究体制を強化・発展させることにより、大学の機能強化へ貢献し、さらには日本全体の競争力向上に寄与することが求められている。

情報・システム研究機構は、生命、地球・環境、人間・社会など複雑な現象に関する問題を情報とシステムの観点から捉え、解決することを基本的な理念としている。

特に、大規模データから有益な情報や知識を獲得し、複雑な現象の解明、予測及び意思決定を行うためのデータ駆動型の研究方法の確立が、科学技術の発展や社会のイノベーションの鍵となっている。

そのため、機構長には、それらの実現を追求する強い意志を有するとともに、次のような資質と能力が求められる。

- ・ 人格が高潔で、学識が優れ、かつ、大学共同利用機関における教育研究活動を適切かつ効果的に運営できる。
- ・ 機構及び機構を構成する各機関のミッションを踏まえた長期的な視野を持ち、第3期中期目標・中期計画を着実に実行するリーダーシップとマネジメント力を有する。
- ・ 大学共同利用機関としての特性を生かし、総合研究大学院大学等との連携を通じ、高度な研究者・技術者の育成を推進する。
- ・ 柔軟な発想で新たな知の開拓、異分野融合、新領域の創出を推進し、我が国及び世界の学術の発展に寄与する。

2 情報・システム研究機構長選考の手続き・方法

情報・システム研究機構長選考会議は、情報・システム研究機構長選考規則及び情報・システム研究機構長選考実施細則等に基づき、厳正な手続き・方法により機構長候補者を選考する。